

健康状態を「見える化」

「運輸ヘルスケアナビシステム」

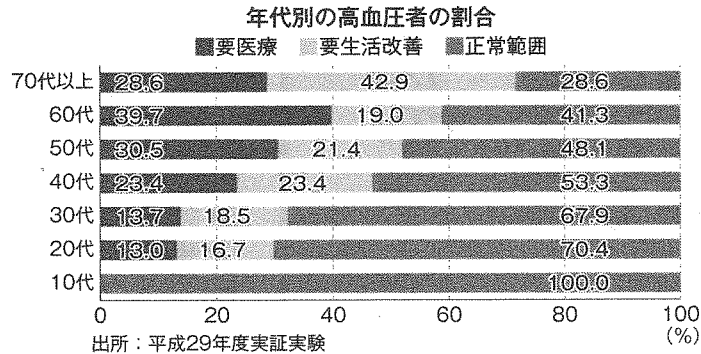
安全

の健康状態の見える化は健康
起因事故がなくなることにつ
ながる」と語る。

ドライバーの定期健康診断
の事後フォローをサポートす
る「運輸ヘルスケアナビシ
テム」の活用が広がりにあ
る。同システムを構築したN
PO法人ヘルスケアネットワ
ーク(武田裕理事長)の作本
貞子副理事長は、「ドライバー

「検査結果は不統一で分かり
にくい」と作本副理事長は問
題点を指摘。未記入が
散見されると同時に、
運送会社側は結果を分
析し切れていないのが
実態だ。

まず運送会社から各ドライ
バーの健診結果を収集する。
「検査結果は不統一で分かり
にくい」と作本副理事長は問
題点を指摘。未記入が
散見されると同時に、
運送会社側は結果を分
析し切れていないのが
実態だ。



運輸ヘルスケアナビ
システムは「データベ
ー化され、結果は一目
瞭然。「死の四重奏」
と呼ばれる肥満、高血
圧、脂質異常、高血糖
の症状を基に、脳・心
臓疾患やSAS(睡眠
時無呼吸症候群)の疑
いがあるドライバーを
即座に見分けられる。
昨年度の実証実験で
は、年齢を重ねるほど

今年度、全ト協事業に

再検査、精密検査の割合が増
える傾向が裏付けられた。ま
た20、30代の若年層でも高血
圧が全体の3割に上るとの新
たな発見もあったIIグラフ。

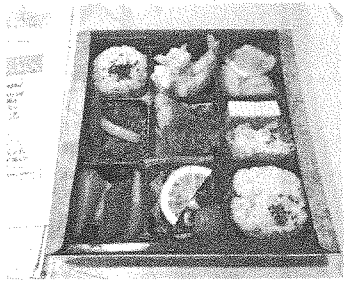
「死の四重奏」 すぐ見分ける

ヘルスケアネットワークで
は、データ提供後の安全・健
康対策づくりの助言、指導も
行う。全ト協ホームページに
掲載されている、ヘルスケア
ネットワーク発刊の「トラッ
ク運送事業者のための健康起
因事故防止マニュアル」の活
用を推奨。例えば、所見のあ
った項目を簡単に印刷でき
る。食の改善に向けては、管
理者を対象にしたセミナーで
バランスの取れた弁当を提供
する。

同システムは今年度、全ト
協の事業として5000人が
対象。「各社の関心は高く、
予定人数に達しつつある」(作
本副理事長)。さらに、利用
や検討する企業を対象にヘル

ステアネットワークの保健師
などが説明会、無料相談会を
開いている。来年度は750
0人まで対象を拡大する方
針。作本副理事長は「健康は

従来、個人の問題とされてい
たが、いまや企業も責任を負
う時代。業界健全化に向けた
底上げを図りたい」と語った。
(遠藤 仁志)



10月のセミナーで提供され
た「ドライバー弁当」は栄
養バランスが満点